

【中小企業委員会と神奈川県商工労働部との政策意見交換会】

新たな取り組みとして、2月8日に、神奈川県商工労働部の産業人材課、雇用対策課、労政福祉課の課長代理・副課長など実務を担当している中堅幹部6名と中小企業委員会を中心とする会員14名が「中小企業の技術継承と若年者雇用」をテーマに意見交換した。

神奈川県の中小企業の技術継承支援策

今年の4月に「技術技能支援プラザ（仮称）」を川崎の京浜高等技術校跡に開設する。ここでは、企業へ出向いて相談に応じる、企業のニーズを調べ支援策につなげる、個々の事情に応じた在職者訓練などを実施する。是非活用して戴きたい。

若年者雇用について

平成16年度より「かながわ若者就職支援センター」を開設し、一人ひとりの能力に合わせたキャリアカウンセリングを実施中。毎日40名程度が利用。また、高校生の職業観を養うため、企業人による出前事業や職場見学会を開催中。

【主な意見】

・企業としては、先ず働く意欲のある人を望んでいる。教育の中で、働く意識が養成されず意欲のない若者が増えているのではないか。



挨拶する荒木中小企業委員長

- ・技術・技能を身に付けるには、地道な仕事を長い期間続けなければならないが、今の若者は汚れない格好のよい仕事の方を向いている。また今は努力をしなくても、そこそこの収入につながる仕事がたくさん増えている。
- ・一流企業で採用されない人が中小に来る。これで高校を出たのかと思う人が多いが、それでも長くいてくれれば一人前に養成できる。辛抱して仕事を続けられるように、企業だけでなく親や社会も協力すべき。

以上